質問

施政をただす

Q 小学校統合の総括は A 一定の理解をいただいた

徳光義昭議員

●徳光　①統合の総括は。②H23年4月統合は日程的に無理では。③工事費と財源は。

■教育長　①一定の理解をいただいたが施設整備、通学対策、児童の交流などの意見があった。議会議決後に委員会を設置し理解を求める。②今年度設計し来年度工事を完了する③耐震検査中で整備内容が未決定で困難。財源は国の補助金と起債を充当したい。

Q キラリと光る表玄関の整備を A 全町公園化の中で一層検討したい

手入れされた街路植栽

●徳光　H23年尾道松江線一部供用に備え、国道432号線、寺町から西上原間の花壇整備を。①町民による管理を提案する。県・町の支援策は。②（仮）甲山インター付近の歩道植栽計画は。

■町長　①「広島アダプト活動支援事業」の奨励金があり、自治振興会、NPO法人、企業職員などの活動団体に交付がある。②維持管理軽減のため、計画はないが全町公園化、品格ある町づくりのため、検討したい。

Q 集落支援員制度の導入を A 支援員配置の調査・検討したい

●徳光　総務省は過疎地域の集落機能維持のため、集落を巡回、生活や地域状況を把握し、住民とともに課題の解決、地域づくりの企画・立案に取り組む事業を推進している。費用は特別交付税で措置される。支援員制度の導入を提案する。

■町長　支援員制度の趣旨の明確化、活動しやすい条件整備、課題解決の道筋の整理が必要。諸制度を調査し、人材の確保に努める。

Q 高齢者福祉をどうする A お年寄りを見守る体制をつくる

松本秀治議員

●松本　全国的に少子高齢化の傾向にあり、高齢者福祉に関しては大きな課題がある。基本的には国の基準に準ずるものであろうが、このままで良いものか疑問に感じる。町長も「安心して住み続けられる健康・福祉のまちづくり」を進められているが、考えを伺う。①独居・二人暮らしの安否確認の確立は現在、ふれあい安心電話や民生委員の方々の訪問など、人海戦術での確認は限界を感じる。今後の対策は。②県内で介護保険料が「世羅町が一番安い」と以前報じられた。安いことは良いと思う反面、他の自治体より介護事業が劣っているとも考えられるが。③現在、住宅に火災報知器を進めているが、聴覚で報知するものが大半である。難聴の方への対応は。

■町長　①H18年度から民生委員の負担軽減と、安否確認の充実を目的に小地域福祉ネットワーク事業を展開している。

　また、ふれあい安心電話に代わるサービスを検討している。②本町の介護保険事業の状況は要介護認定率、第1号被保険者一人当たり給付費及び介護サービス利用率はともに県平均で一つの要因として介護認定の軽度者が施設サービスに流れ、居宅サービスの利用者一人当たりの支給額が低いことから保険料額が安くなったと考えられる。③音・光・振動で火災を報知するタイプの物もあり関係機関と連携を図りながら支援をするよう取り組む。

設置された火災報知機

一般質問 全員が

あらゆる角度から

カメリアは営業中

Q せらにし旅行村の今後は

A 方針を早く協議決定する

仙光保喜議員

●仙光　S50年、「青少年の健全な発達と明るく豊かな生活形成を目的に建設された。その後、町民グラウンド、いこいの広場、コミュニティーセンター、クアパルクせらにし、出会いの宿、バーベキューハウス、体育館など整備が充実され、多い時には年間4万人の入村客で賑わった施設だ。数多くの魅力ある施設がありながら、一部の施設が現在閉鎖状態にあることは残念でならない。西の玄関と位置づける旅行村、管理費用を使いながら閉鎖を続けることは許されない。前向きに施設の適切な活用を考えるべきだ。

■町長　太陽と緑豊かな美しい自然を開放し、住民の健康と福祉の増進を図るため、施設を開設し町民に、また、多くのお客様に愛され喜ばれてきた。

しかし、消費動向の冷え込みやレジオネラ菌の発生、さらに源泉の水量低下が新たに発生し、来園者数・収益は大きく減少した。現在、鍵管理・草刈りなどはシルバー人材センターにお願いしている。常時、管理者がいないためお客様の受け入れは行わず、グラウンドゴルフやゲートボールなど地元で継続的な利用団体に限り利用を許可している。

早く再開したいとの思いも持ちつつ「収支」という観点から目を閉ざすことは出来ない。あらゆる方向を検討する中で、地元管理の可能性など選択肢を洗い出し、早く方針を決定するよう協議中である。

Q 水不足・イノシシ被害・里山の荒廃を考える

A 森林整備で活力ある社会構築を

福田　豪議員

●福田豪　年初以来まとまった降水量がなく、水稲の作付け不能、畑作物では収穫不能まで見られる。

一方でイノシシの被害は、農業だけではなく道路、水路、さらに生活面にまで拡大している。

水不足は直接には雨量が原因だが、間接あるいは長期に見れば、イノシシ被害と同様に里山の荒廃が要因のひとつと考える。

■町長　森林には水源涵養や地球温暖化防止など多面的な機能がある。里山を再生することで、イノシシ被害の防止や異常気象の防止に、少なからず役立つと思われる。

事業・制度を活用して森林整備を進め、活力ある農山村社会の構築に努めたい。

里山松くい虫の松を整理

Q バイオマスで「人と自然の輝き」を

A 産業振興にも効果

●福田豪　バイオマス構想は、グリーンニューディールのトップランナーと評価する。

起業立地も可能であり、里山の再生にも活かされる。「人と自然が輝く町」への手段と考える。

■町長　バイオマスタウン構想も含め、実現性のあるものとしたい。また、有効活用で地球温暖化防止、資源循環型社会の形成に役立つばかりでなく、産業振興にも効果をもたらすと考えている。

Q 障害児教育の課題にどう取り組む
A 実態に応じて実施する

永田英則議員

●永田　①障害児保育の課題。②小中学校コーディネーターの配置は。③特別支援の実態。④障害児療育手帳を有していない児童生徒の通学に対し、教育委員会の考え。⑤小学校には入学できたが中学校へは入学できなかったと報道、本町の入学体制は。

■町長　①家庭や関係機関と連携し適切に対応する。

■教育長　②各学校に一名配置している。③特別支援学級小学校7校中学校3校すべてに設置。④保護者・学校の意見を聴取後、慎重に審議し決定している。⑤就学指導委員会において審議決定している。

老朽化している体育館（甲山小学校）

Q 公共施設の管理、運営は
A 早く方針を決定する

●永田　①クアパルクせらにし。②甲山給食センター。③シャンテパルク新山。④観光施設管理費。⑤橋りょうトンネル。⑥廃止保育所施設の利用。

■町長　①直営、指定管理、譲渡、閉鎖など検討協議中。②教育施設の一部として検討中。③利用者には施設の状況を理解いただいている。④せら農業公園・せら香遊ランド・甲山いきいき村。⑤点検を実施している。⑥本年度中方向性を決める。

Q 国県のH21年度補正予算成立後、世羅町の補正は
A 早い時期に提案する

●永田　経済対策地域活性化に対して予算執行の審議は。

■町長　経済対策事業については、県に事業計画の承認を受け、早い時期に補正予算を提案する。

Q 農地法の改悪と干害対策は
A 町外の参加を進め活性化を

矢山　武議員

●矢山　企業に農地をゆだねて、農地の有効活用を図り、農業委員会にチェック機能をもたせる。農地法の改悪であり、賃貸期間も50年以下に延長した。家族農業を守るべきでは。

　雨が少なく田植えが出来ない田や、今後の稲の生育が心配されるが対策を。

■町長　地域とも連携できる町外農業者の参入を進めたい。

　植え付け不能は13ヘクタール余で、今後水田の干害も予想され対策を検討する。

干ばつで株はりの悪い稲

Q 学校施設の耐震化と障害児教育は
A 耐震診断により整備

●矢山　遅れている学校耐震化への対応が必要であるが今後の計画と財源について問う。

　障害をもたれた児童の通学をどう保障するか。毎日先生が送っておられた例もある。義務教育が受けられるきめ細かい対応が必要である。

■教育長　耐震診断の結果に基づいて整備する。特別支援教育を推進し、受け入れのための条件整備に努める。

Q 固定資産税評価替えと課税は
A 評価基準により課税

●矢山　農業が赤字でも税が課せられる。固定資産税は、評価替えで地価も下がっており見直すべきである。施設用地の農地評価や、簡易な農用施設は償却資産とすべきではないか。

■町長　評価替えで、評価額が低下しており地域の実情を反映し算定している。評価基準と税法により適正に課税している。

Q 小学校統合と地域振興策は

A 連携して取り組む

仲行　洋議員

●仲行　小学校統合を進める上で施設整備、通学対策など万全を期するのは当然。一方、廃校となる地域の振興、活性化策の具体案を示せ。

　合わせて自治センターへの協力体制はどのように考えるか。

■町長　施設整備や通学対策などのハード面はもとより、児童の事前交流などのソフト面においても準備を行い、スムーズな統合を目指す。

　閉校となる地域の振興や活性化については、校舎、屋内運動場、グラウンド、プールの利用などを含め、各自治組織での検討を踏まえ具体案を決定したい。

　自治センターへの協力体制は地域で振興・活性化の検討の際、関係職員を派遣し、助言や情報提供など連携して取り組みを進める。

きちんと並んで下校（せらにし小学校）

Q 旅行村の早期再開は

A 早く方針を決定する

●仲行　現在休村状態のせらにし旅行村の再開を望んでいる。現在の取り組み状況は。

■町長　グラウンドゴルフやゲートボールについては使用していただいている。また、グラウンド夜間照明施設は再開した。温泉施設は、閉鎖も含めた検討もせざるを得ない。他の施設については地域による運営管理も一つの選択肢と、あらゆる方向性を検討している。

　できるだけ早く方針を決定したい。

Q 暴力団の現状は

A 壊滅状態にある

岡田武士議員

●岡田　①宮永組組長逮捕後の経過と現在の様子は。②東洋思想塾北部はどうなるか。③事務所の競売に町が参加する予定があるか。

■町長　①現在は警察の厳しい取り締まりと行政・警察・町民が一体となり、暴力団を始め、反社会的勢力と対峙する活動により、壊滅状態にあると聞く。②政治団体は実在しているが、活動はないと聞く今後とも、関係機関と連携を図り暴力団排除活動を積極的に推進する。③町内から完全に排除することが、町民の日常生活の不安と脅威を取り除くことになると考え、前向きに対応したい。

Q 町職員の健康管理は

A 労使で構成する安全委員会で

●岡田　①日常の健康管理をどう指導しているか。②職員同士の融和はどうしているか。③管理者が常に気配りすべきと思うが。

■町長　①年に一回人間ドック、一般健診の受診を指導している。全庁的に毎週水曜日、教育委員会は毎週月曜日を一斉退庁日と決めている。病休者の状況把握や精神状態が不安定な職員の把握を行い、日常の健康管理に取り組んでいる。②特段指導していない。③労使で構成する安全衛生委員会での情報の共有に努めている。

ＪＡ職員の派遣中止のお知らせ

Q なぜ無くした支所のＪＡ職員

A 支所の取り扱い減少

●岡田　本年４月よりＪＡ職員が引き上げた理由と、Ｈ20年度中の利用者状況は。

■町長　昨年支所への派出職員派遣の見直しの申し出があり、指定金融機関としても効率的でないと判断し、本年４月から支所職員により収納を行っている。

　支所の収納はＨ19年度一日平均38件約34万円Ｈ20年度34件31万円。